

(特非) まちなびや

環境保全型第一次産業を核にした子ども向け「環境・キャリア授業」の開発とパッケージ化による普及

イベントの 延べ参加者数	506 人
助成活動がメディア に掲載された回数	4 回
活動の全体目標 に対する達成度	30%



林業家から環境のお話を聞く

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 参加体験型の出張授業実施前は、森林や林業に関する興味・関心や知識が低かったが、実施後は一気に高くなった。林業の仕事への興味は 40% 程度が 82% と倍増、林業の仕事をしたと考える児童も 16% から 45% と実に 3 倍近くになった。
- 工夫** 学校で専門家が、学習内容に沿ったオリジナルの出張授業を実施したこと。普段見られないものを可視化できた。

課 題

小中学校では、持続可能な自然環境利用の意義や、仕事の実態について学習する機会は少ない。また、「キャリア教育」においても、第一次産業が取り上げられることは少ない。

活動内容

静岡市内の 5 小学校で、環境認証林を経営しながら都市と山村の環境共生を進める林業家と「出張林業教室」を協働実施した。また、子ども向け情報紙「コドモンデ」にて、焼畑農法や在来作物の保護普及を通した、環境活動を展開する井川焼畑倶楽部及び蕎麦屋（活動の中心となる方が経営）と、流域内木材資源循環を実現するための事業者組合「オクシズネット」を取り上げ、各回 3 万部を印刷、市内小中学校や関係機関・図書館等に無償配布した。



目前で木を切るデモンストレーション

今後の課題

林業家の方々に協力いただける時期が限られてくるため、学校に対して周年対応が難しい。